

第 85 回全国都市問題会議報告書

令和 5 年 10 月 30 日

貝塚市議会議長 南野敬介 殿

大阪維新の会 貝塚市議会議員団 中川 剛
樽谷 庄道
中西 真知子
八野 裕嗣



日程：令和 5 年 10 月 12 日～13 日

場所：八戸市公会堂

基調講演 「アート役割って何だろう？」

講師 日比野克彦氏（東京藝術大学長）

アートとはいったい何か？

美術・音楽・演劇などの表現形態をイメージするかと思いますが、今のアートは変容しています。日比野氏は人と人との繋がり、アートで人が連携すると捉えています。

例えば岐阜市での取組みですが、12月22日(冬至)に長良川で鵜飼イベントを17年前から実施。イベント当日もそうですが、その日に向けて市民が参加してその日に向けて活動し屋形船の装飾を作り上げる。このことをアートと捉えて市民が創作する。地域と地域が繋がり、人と人とが繋がる。人が集まると会話が生まれる。

この活動をアートと捉えて、市民の多様な価値観や眼差しを大きなテーマとして取り組む。単に展示された美術・音楽・演芸などを観に行くだけではないとのお話に感銘を受けました。

他にもアートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けることが大切なものである」と捉えてみると、人の心を動かすことはアートの機能、役割、特性ともいえる。

様々な社会的課題は、人の行動に起因しているということです。

人の心の動きが街の変化に必要なようになってくる。

心に作用する所にアートが機能してくる場面があるのではないのでしょうか？

アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」と捉えられるということです。

基調講演 「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」
講師 鈴木秀樹 氏（株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長）

プロスポーツは稼ぐ、地域との関わりをどのようにしていくかが大きな課題です。

Jリーグが開幕して30年になりますが、地域との関係を持っているプロスポーツは、100を超えており、ほとんどが複数の地域との関係を持っているので300~500くらいの自治体で何らかの関わりを持っていることになる。自治体側から見たプロスポーツの活用方法としては、試合などで、特産物を配布したり、販売したりあるいは選手を呼んでサッカースクールをやったりすることが一般的だが、プロスポーツは地域に豊かさをもたらすものとする。

2011年震災前の鹿島アントラーズは、地域と行政と町おこしのためにプロスポーツを作る考えのもと、ブラジルからジーコを招いたり、タイトルを重ねるなどチームは勝つことに一番の重きを置いてきた。

2011年震災後スタジアムがボロボロになり復旧までに時間がかかった。30年後のアントラーズの未来を見据え、これまでのアントラーズは偶然が積み重なってできたものであり、偶然を必然に変えるために、大事なものは地域との関係、社会貢献ではなく地域と話し合っただけの何かをする決断に至った。

ビジネスを回して地域に還元したい、周辺自治体との連携をする活動として、自治体との職員派遣の連携を行い、次の時代を担う若い職員をローテーションでアントラーズで学ぶことで人材育成の貢献、地域の病院を開設や抱えているトレーナー（理学療法士）を活用することで地域医療に貢献、スポンサーの力を借りてプログラミング教育を実施するなど様々な取組みが展開されています。その結果、鹿嶋市総合計画には、アントラーズは地域を代表する地域の資源と記載され、通常一企業のためにふるさと納税はしないのだが、地域の資源とされ実施し、モノではなくコト（試合を見に行ける、選手と何かができる）をふるさと納税型クラウドファンディングが実施されています。

まとめ

今回【文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展】をテーマにご講演いただいた講師のお話において共通する事は、①それぞれの地域の地形的、歴史的、文化的特色や背景をしっかりと分析しまちづくりに取り入れている事 ②文化・芸術・スポーツに秀でた地元にはゆかりのあるキーパーソンをつかまえてしっかり連携をしている事 ③リスクはあるかもしれないが常識といわれるもの、こうあるべきというものを少しずつ壊しながら、市長であり文化・スポーツ団体の長は覚悟を決め信念をぶらさずに挑戦している事であると感じました。

文化やスポーツには、人間に生きる喜び精神的な充足を与える力がある。

取り組む者だけでなく見る者の心を動かす力がある。

それに付随して、スポーツであれば健康という側面より福祉、健康へつながり、美術館や建造物は観光資源にもなるなど重要な役割を果たす。

文化やスポーツは目に見えない投資政策になってしまうが、建造物を建築する必要があるのであれば維持管理コストや予想される効果などをわかりやすく見える化をする、住民に理解を得られないのであれば住民をまきこめるような工夫をするなど、その地域に住む住民に興味を持ってもらう事が非常に重要であると感じました。

経済政策等、生活に直結する・あきらかに効果がわかる政策に走りがちな昨今、このように効果が目に見えにくい未来への投資になるが、住民の心を動かし、住民の生活や生きがいに働きかけていく政策を打ち出していくことが間接的に観光・経済効果もあげていくことにつながっていくのではないかと感じました。スポーツや文化のもつ可能性と魅力に心躍る会議でした。